

議会報告会報告書

平成29年2月3日

山陽小野田市議会

議長 尾山 信義 様

B班

代表 長谷川 知司

平成28年12月定例会議会報告会の実施状況について下記のとおり報告いたします。

記

1 開催日時

平成29年1月21日（土）14:00～15:07

2 開催場所

加藤公会堂

3 参加人数（市民）

15人

4 担当班議員名

（ 長谷川知司 ）（ 河崎平男 ）（ 笹木慶之 ）

（ 下瀬俊夫 ）（ 松尾数則 ）（ 吉永美子 ）

5 報告会次第

（1） 市議会代表挨拶

（2） 12月議会の報告

① 総務文教常任委員会 （ 河崎平男 ） [司会]（ 笹木慶之 ）

② 民生福祉常任委員会 （ 下瀬俊夫 ） [記録]（ 吉永美子 ）

③ 産業建設常任委員会 （ 松尾数則 ） [受付]（ 長谷川知司 ）

（3） 質疑応答

6 主な質問・意見・提言

<総務文教常任委員会>

- ① 住民投票について、他の選挙と一緒に行うか、事案ごとにどうするかを決める方が、投票率が上がるのではないか。

[回 答]

そういうこともあるかもしれないが、別に行った方がチラシを配布したりできる。

<民生福祉常任委員会>

- ① 病院のコンサルタント委託について、コンサルタントにかけないと自分たちでできないのか。

[回 答]

民間病院は病床稼働率が9割を超えないと黒字にならない。市民病院は8割になっている。コンサルタントに積極的に分析してもらおうということだ。

- ② 市民病院には目玉がない。

[回 答]

産婦人科と人工透析が増えている。

- ③ 個人病院が市民病院でない他の病院を紹介するのはなぜか。

[回 答]

市民病院には紹介状が必要ない。地域連携室どうし連携し合うことが今までうまくできていなかった。現在は、院長が開業医訪問などを行っている。

- ④ 公立保育所再編について、私立保育園との整合性はどうなるのか。

[回 答]

合併時の条件がある。山陽側はかなり定員割れしているが、小野田側は保育園が足りない。待機児童は小野田側であり、保育士を増やし対応するには私立保育園では困難である。

<産業建設常任委員会>

- ① 公共下水道について、小野田地区と山陽地区の普及率はどうか。

[回 答]

小野田地区が52%、山陽地区が48%で、山陽地区の方が低い。

(下水道課に確認したところ、平成27年度末で小野田地区が59.4%、山陽地区が38.6%とのことである。)

<意見・提言>

- ① 市民病院は患者の目線でものを見ていない。患者目線で集中して議論してほしい。
- ② 市民病院の雰囲気は以前と違っている。旧病院の雰囲気は良かった。患者を減

らせている問題があるのではないか。

- ③ 旧病院に比べると寄り付きにくい。
- ④ なんであるなに暗い病院を作ってしまったんだろう。また、交通の便がないのが患者を運ばないことにつながっている。
- ⑤ 同じ医師なのに、病院の建物が変わると態度が違ってしまった。
- ⑥ 水道料金の値上げについて、水道局の「議会に中立的な立場で判断していただきたい」というのは理解できない。わかりやすい資料を示してほしい。
- ⑦ 市役所にパソコンを導入した後の職員数、車両数、パソコン台数を時系列に出してチェックしてほしい。